

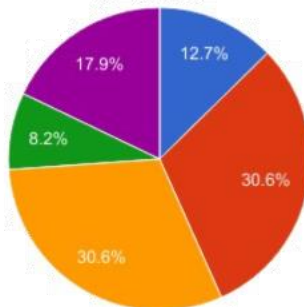


**iPad を用いた学習の成果 (2016 年 5 月→2017 年 10 月の変化)**

5年生が iPad を導入してから約2年が経ちました。授業中はもちろん、学習発表会などの行事においても積極的に活用してきました。今回は、iPadを使用することで子どもたちがどのように変化したのかを、4年生の5月と5年生の10月に行ったアンケートをもとにご報告致します。

まず「自分の考えをまとめて、クラスの前で発表している」について、昨年5月時は肯定的な意見が4割程度に留まっており、大きな課題でした。授業の構成を見直すと同時に、iPadを用いて発表の機会を多くもつように心がけました。

自分の考えをまとめて、クラスの前で発表している



- とてもそう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- まったくそう思わない
- どちらでもない

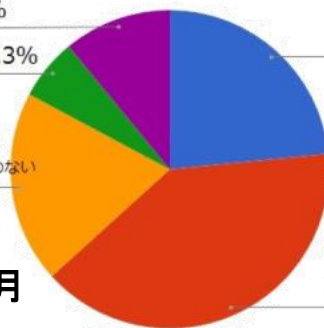
2016 年 5 月

どちらでもない 10.9%

まったくそう思わない 6.3%

どちらかと言えばそう思わない 19.5%

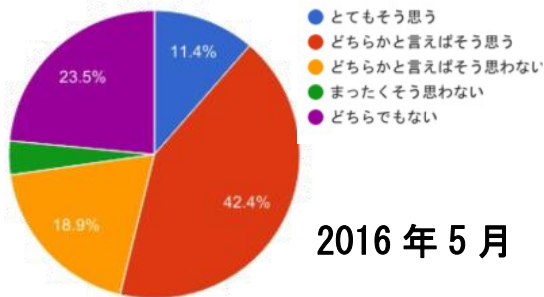
2017 年 10 月



とてもそう思う 23.4%

どちらかと言えばそう思う 39.8%

自分の考えをまとめて、もっとも相手が理解しやすい方法で伝えている

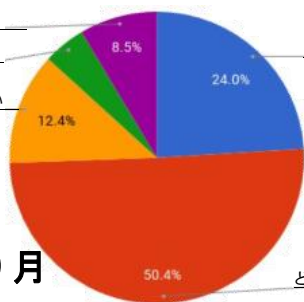


2016 年 5 月

どちらでもない 8.5%

まったくそう思わない 4.7%

どちらかと言えばそう思わない 12.4%



2017 年 10 月

どちらかと言えばそう思う 50.4%

その結果、今年度10月時点では6割以上の子どもたちが、肯定的にこの項目を捉えるようになりました。これからの教育においては、自分の意見を明確に述べ、人と【学び合う】ことが大切とされています。その第一歩である「発表する」ことへの積極性が伸びたことを嬉しく感じています。

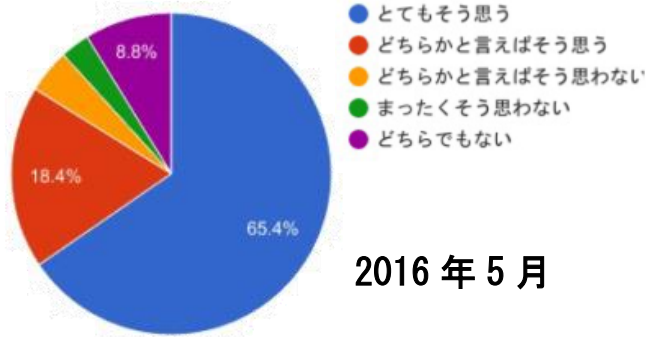
さらに5年生は「発表する」段階で「自分の考えをまとめて、最も相手が理解しやすい方法で伝える」ことを意識するようになってきました。従来のように紙媒体を使って伝えるのか、言葉で伝えるのか、またはiPadを使って伝えるのか、その場に適した方法を自ら選択し、自分の考えを伝えるようになったのは、大きな成長であると感じています。

## すぐに答えを知るより、みんなで考える方が好きである

そして、右のグラフを見ると、「すぐに答えを知るより、みんなで考える方が好きである」という結果が出ています。複雑化する未来において、他の人と協力・協働しながら、物事を考えていくことは必要な能力です。この思いをさらに伸ばしていくことができるよう、これからも教材の開発、授業の工夫をしていきたいと考えています。

その他の項目でも、昨年と比べ子ども達の学びへの意識が確実に高まっています。これは iPad の導入だけではなく、教員の授業に対する意識の変化も伴っての変化であると感じています。これからも、意欲的に学ぶ授業をしていきたいと考えています。

グラフをカラーで読まれる場合は、こちらのQRコードを読み取って、本校のHPに掲載しているEDEN第5号をご覧ください。



2016年5月



2017年10月

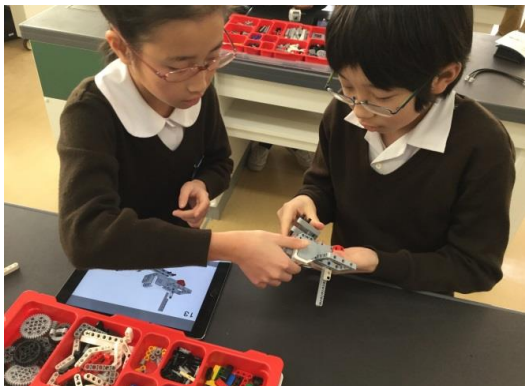
## プログラミング学習(レゴ マインドストーム)

「プログラミング」と聞いてどのようなことを連想されるでしょうか。ロボットや難しいコンピューター言語でしょうか。昨今、プログラミング教室が増える中、この言葉を耳にする機会も増えています。

2020年の学習指導要領の改訂により、論理的思考力育成のためにプログラミング教育が必修となります。それに先駆けて、本校でもプログラミング教育の実践、検討を行っております。先日、5年生全員と3年生希望者に対してレゴ エデュケーションのロボット教材



を用いたプログラミング体験会を実施しました。iPadに指示を書き込み、ロボットに送るのですが、壁にぶつかってしまったり、反対方向に進んでしまったりなど、なかなかうまくいきません。けれども、その分、うまくいった時の喜びもひとしおだったようです。「面白かった。できなくて



くやしかった。」「難しかったけど、またやりたい!」という声がたくさん聞かれました。

日常・学校生活でも、順序立てて考え、また失敗した時にどうするかを考えるという姿勢はとても重要・必須です。これからの社会で活躍する子ども達を育てるためにさらに効果的な方法等を私達も日々研究して参りますので、どうぞ、続報をお待ちください。(文責：神田)